

# 行政視察報告書

建設環境委員会行政視察

令和4年1月27日（木）

視察先及び  
視察事項

長野県東筑摩郡朝日村

公共施設（朝日村役場・あさひ保育園）への地  
域産材の活用について

朝日村役場庁舎（令和3年4月30日竣工）

村の87%が山林で、その60%を占める村産カラマツを活用した木造建築  
平成30年度木材利用優良施設コンクールにて林野庁長官賞を受賞

特徴

- ・カラマツを主体とした大断面集成材、信州型接着重ね梁、壁柱工法等を採用
- ・個人所有の古木を、8名の個人と2団体から寄付を受ける。
- ・村産7種類の木材を活用し、木のぬくもりあふれる建物とした。

これらの取り組みから、国土交通省の先導的木造建築物（サステナブル建築物等先導事業）に認定された。

事務室

環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業により、地域資源である再生可能エネルギーの活用として、地中熱利用による冷暖房設置の導入

太陽光発電設備による需給電力の軽減を図る。

自家発電設備を備えた防災拠点としての機能

その他

ユニバーサルデザイン

電気自動車の充電設備を設置

ミニスーパーの併設

交流スペース等複合施設による賑わいの場

あさひ保育園（平成27年開園）

村産カラマツを使用 木のぬくもりを感じられる園舎をコンセプトに建築

地中熱利用による冷暖房

あたたかみのある園舎

意見交換から

地中熱の維持管理について

- ・電気代が年間で20万円くらいに削減された。
- ・予備熱として輻射熱と合わせて使っているため、厳冬でも暖かく仕事ができる。

屋根の大きさが重要

軒下を広くとることにより、木材への風雨の影響を軽減できる。

外壁はT&Tパネル、5年に1回外装を塗り替える必要がある。

木材なので、壊れた所だけ交換すればよい。

村民からも木のぬくもりが感じられる温かな役場庁舎であると喜ばれているとのこと。

視察を終えて

環境省や、経済産業省の補助金等を最大限に活用して、木のぬくもりを感じる素敵な村役場庁舎となっている。村産のカラマツをふんだんに使用。伐期を迎えているカラマツの有効活用がされていた。また、地中熱を利用し、環境にもやさしく、維持管理等、経費削減にも大きな効果をもたらしている。特に、古木を8名の村民から寄付をいただくなど、村ならではの温かみを感じた。

松本市も新庁舎建設が計画されているが、木のぬくもりを感じる庁舎に期待する。

有意義な視察となりました。

令和4年2月4日

松本市議会議長 芝山 稔 様

建設環境委員会 委員 上條 美智子